

有機質資材の散布による抑草効果

福島県農業試験場会津地域研究支場
平成16～17年度試験成績概要

- 1 部門名 水稲－水稲－雑草発生・雑草防除・会津平坦
分類コード 01-01-19206700
- 2 担当者 花見 厚・松本靖・新田靖晃
- 3 要 旨

会津平坦地域における有機農産物認定を目標にした雑草防除体系を確立するため、移植3日後に水田表層に有機質資材を散布(15kg/a)した抑草効果について検討した結果、その効果が認められた。

(1) 7月上旬の雑草の発生状況と抑草効果

発生を確認した雑草は11種で、優先草種はコナギ、ヒエ、ホタルイであった。ヒエでは有機資材の処理により無処理区対比30%以下の発生で抑草効果はナタネ粕>米糠≒屑大豆≒鶏糞の傾向であった。ホタルイ、コナギの抑草効果は概ねナタネ粕(無処理区対比ホタルイ2%、コナギ1%)>屑大豆(同ホタルイ40%、コナギ20%)≧鶏糞(同ホタルイ40%、コナギ40%)>米糠(同ホタルイ43%、コナギ73%)の傾向を示した。以上のことから水田における抑草効果の高い有機資材はナタネ粕、屑大豆、米糠の順に有望と見られる。また田面を被覆するウキクサ及び藻類の発生はナタネ粕、屑大豆の施用で顕著であった。

- 4 その他の資料など